

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日 2023年12月20日

事業所名: 児童発達支援事業所ふおれすと

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	基準スペースは確保できている。	・広すぎず十分なスペースがあり、活動しやすいと思います。・年長になり室内が狭く感じるように思うようになった。	広い場所を必要とする活動の時は、家具等のレイアウトの変更をしたり、公園を利用する等の工夫をしていく。
	2 職員の適切な配置	基準以上の人員を配置している。	・たくさんの職員の方が居てくださっています。	今後も十分に支援ができるよう実態に見合った職員の配置を行っていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	特性を持った子供達が、生活しやすいように、又、理解しやすいように視覚化、構造化している。	・写真や絵で自分が使用するものや場所などがわかりやすく設置されている。・タイムタイマー等、視覚的支援の物が導入されています。	安全を第一に、子供達が快適にすごせ、生活がスムーズに流れるよう視覚支援と構造化を充実させていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	環境整備として、清掃、消毒、整理整頓を行い、子供達が活動に集中できる工夫をしている。	・暖かみのある明るいお部屋で物も目隠しされてあまりないので集中して活動ができる。・いつもきれいです。・自然光も取り入れてとても明るく、いつもとてもきれいで清潔です。	子供達が気持ち良く過ごせかつ、集中力を保てるよう常に清潔、整理整頓をしていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	全職員の参加で毎月1回会議を行い、その中で話し合っている。毎日の『個別支援実施表』から、その日の振り返りを行い次回の支援に反映させている。		毎日の振り返り会議の中では、情報共有するだけでなく、明日への療育につながる考察をしていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者の評価は受けていない。		検討していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	職場内研修は2か月に1度の頻度で行っている。		外部研修の参加を促したり、参加しやすい環境づくりをしていく。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	会議の中で「個別支援実施表」を元に職員で考察をし、保護者の意向に基づいた計画を作成している。		引き続き、毎日の『個別支援実施表』で評価と考察を行い、保護者の思いと照らし合わせながら計画を作成していく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	それぞれの子供の発達特性や状況、課題に応じた活動内容を提供している。		個々の状況に合わせた、細やかな支援をしていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	わかりやすいように、具体的に丁寧に記載している。		支援内容に関しては、いろいろな支援対策を具体的に提案していくようにする。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画に沿った支援を行っている。	・食事に関しては、とても気を使って頂き本当にありがとうございます。言語面はこれからかな?と思います。	支援計画に沿って支援がなされているか、その方向性がずれてきていないか常に確認しながら、支援を実施していく。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	職員間で話し合い、立案している。		個々の状況や課題について職員全体で把握し、支援方法や活動内容を皆で検討していく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	日程変更や時間変更にはできる限り、対応している。	・なかなか先生方の誘いにのらないようですが、色々と手をつくしてくれています。	困り事や不安事に対して、その都度できる範囲で支援している。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	曜日で活動を固定化しない。お楽しみ会を毎月入れる等している。		引き続き、固定化、マンネリ化しないように、工夫していく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎朝のミーティングにおいて確認している。		今後もミーティングにおいて、全職員で情報共有の徹底をしていく。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎日「個別支援実施表」の記載をし、評価、考察し、それを基に職員会議を行っている。		今後も毎日の会議を通じ、職員間の連携を図っていく。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	管理者が確認し、どのように改善・アドバイスすべきか、皆で共有している。		今後もねらいに沿った活動が用意され、その支援が適切なのか常に確認しながら進める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し		定期的に見直しを行うのは、勿論、保護者の依頼があれば期間に関係なくその都度見直していく。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画		積極的に、参加していく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当児童がいない。	該当児童の利用があれば、保護者、医療機関との連絡を密にとり、児童が安全に快適に生活できるよう努めていく。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当児童がいない。	該当児童の利用があれば、保護者、医療機関との連絡を密にとり、児童が安全に快適に生活できるよう努めていく。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要がある場合、随時行っている。	今後も必要がある場合、随時行うようにする。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	該当しない。	該当しない。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修は職員に知らせているが参加の有無は本人が決めている。	専門機関での研修への参加を職員に促していく。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	行っていない。	・いつもと違う環境の苦手さや不安感が強い子も多いと思うので必ずしもそういう活動が必要とも思わない。 今のところ行う予定はない。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	行っていない。		今のところ行う予定はない。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	重要事項説明書で説明している。		今後も重要事項説明書で丁寧に説明していく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別支援計画書を掲示しながら口頭で詳しく説明している。	・いつも丁寧に話し合いの場がもうけられている。	保護者の納得が得られるまで、丁寧に説明していく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	行っていない。		保護者のニーズに応え、前向きに検討していく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や送迎時の対話で行っている。	・連絡ノートをいつも笑いながら楽しく見せてもらってます。・通所時の様子をいつもノートに丁寧に書いてくれている。・日誌で細かく当日の様子を伝えて頂いているので分かりやすく助かります	主に連絡帳を通じて行うが、必要に応じて対話もし、共通理解に努めていく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	必要に応じて、連絡帳や電話、送迎時の対話で行っている。	・ちょっとしたことなどもお手紙をそえて、アドバイスしてくれるので助かっています。・家庭や幼稚園での出来事や相談を親身になって聞いてくださっています。	日頃から相談しやすい雰囲気をつくると共に適示行うようにする。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	年1回、勉強会をかねて、保護者が交流できる場を設けている。		保護者からの要望によりホームページ内に、保護者同士が思いを共有しあえる場を作成する予定がある。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	管理者が対応するが、今のところ事例はない。	・不満に感じた事はありません。いつも丁寧に細やかに対応して下さり、ありがとうございます。・苦情などないのでわからない。・特に苦情などはないため。	事例が発生したら、誠実に迅速に対応する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	視覚支援カードなど、視覚化をするともに声掛けに工夫をしている。		個々の状況に応じた方法で意志疎通や伝達を行っている。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月のおたよりの発行、写真配信（毎日2回）をしている。	・活動時の写真をパスワードを入れて閲覧にしているのに、子供の顔を隠さなくても良いのではないのでしょうか。（表情が分かりにくい、お友達に会っても保護者同士がわからない・・・）	引き続き、毎月のおたよりや写真配信（毎月2回）で活動の様子を知らせていく。写真配信については、保護者の同意を得て、個々に対応していくようにした。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人名の載っているものは鍵付き棚に保管し、ホームページに写真を載せる時は個人特定できないよう加工している。		引き続き、適切な取り扱いを行う。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時対応マニュアル等の策定を行っている。必要なものは保護者に書面で通知している。		今後も避難訓練時の評価反省は、その都度行い、毎月1回職員会議でスタッフ全員に周知していく。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	毎月1回行っている。	・定期的に訓練を行っていただけなので本人の災害への意識、知識が高まっていると思います。	曜日により登所児童が変わるので、今後もまんべんなく避難訓練に参加できるように日程を決め、行うようにする。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年1回行っている。		引き続き、職員研修・啓発を行う。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	該当児童はいない。		やむを得ず身体拘束を行う場合は適切な手順を踏み、全職員の研修を行う。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	該当児童はいない。卵・乳を使用しているものは置いていない。		医師の指示書に基づく対応をする準備はできている。
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット記録表を記入し、迅速にそれを用いて全職員で考察を行っている。		事故が起こった時は、迅速に全職員での考察をし、再発防止に努め、全環境の安全面再点検を行うようにする。